



る う て る

2014年
12月
No.811

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土町1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宜生 koho06@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 晴文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-71734

説教「隠れなき光」

日本福音ルーテルなごや希望教会牧師 末竹十太

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。
ヨハネによる福音書一章9節

人間の視覚は光に依存している。光がなければ、我々が見ることができない。我々が自分で見てい

ると思ひ込んでいるものは、それ自体が光を反射し、我々の網膜に像を映さなければ見ることができないのである。見えな

いものは、我々が視覚的に見ていないというだけであり、それが存在しないということではない。

である。反対に、信仰によって認識する世界は広い世界である。信仰によつてこそ、神の世界、神の支配、神の国を見るのである。信仰によつてみる世界が真理である。ヨハネが言う「まことの光」で見

る世界である。

この光は「まことの」と言われている。真理と同一の形容詞である。真理が「ア・レーティア」隠れなきことであるから、「まことの光」とは隠れなき光、あるいは隠さない光ということになる。この光自体は「隠れなく」光り、照らすものを「隠さない」光である。自ら隠れな

くあり、自らと関わる存在を隠さないのである。その光自体がすべての人を照らすということ、誰もこの光から逃れることができないということ、誰もこの光から逃れることができないならば、隠れなくあらざるを得ない世界となる。これがヨハネが見ている世界、信仰の世界である。

ところが、我々人間の世界は常に隠し、見過ごしてしまふ世界である。人間の恣意によつて真実は隠され、都合の良いものだけが提示される。こうして、人間は自らの罪に從つた世界を作りだしてしまふのである。そうであつてもなお、真理は隠れなくあるのだ

が。まことの光に照らされる存在は、隠れることができな

いだけできなく、見過ごすこともできない。互いに、裸の自分をさらし合つて

いる世界である。だからこそ、人間はまことの光を嫌うのである。他人の隠していることを見たいと願うが、自分の隠していることは見せたくない。自分だけは隠れていたい。それが人間の罪の姿である。

そのように罪の中に身を潜めている存在であるうとも、来たりて照らすのが「隠れなき光」。「まことの光」なのである。この光こそ、隠れなく生きてくださったイエス・キリストである。キリストは、十字架の死に至るまで、ご自身を隠されなかつた。捕らえようとすると、捕らえようとすると、ご自身を現された。十字架の上で、すべてをさらして生き給うた。パウロは弱さから十字架に架けられたキリスト(2コリント13:4)を語つてもいる。弱さもありのままに見せ給うお方がキリストである。このお方に照らされると



き、我々は弱きも、恥と思えることも、すべてをさらしてもなお、神の前に生きる者とされる。キリストの光に照らされることを受け入れる存在だけがそのように生きるのだ。受け入れない者は、闇に逃げてしまふ。そして、自らを神の世界の外に追い出してしまふのである。そこに選びがある。照らされたくないと、隠れることを選ぶ者が自らの選びによつて、自らを選ばれざる者としてしまふ。隠れることを選ばず、神が照らすままに隠れなくあることを受け入れる者は、選ばずに選ばれている。光を反映する存在となり、光と一体となつているのである。

我々キリスト者と呼ばれるに、我々キリスト者と呼ばれる者、真実に光を反映しているか否かを常に問われている。何故なら、まことの光は常に我らを照らし続けているからである。「わたしの十字架の言を聞いていたのか。」とキリストは問う。「わたしの光を受け入れていたのか」と問う。自らを省み、来たり給う光を、喜びをもって受け取ろう。「来たりませ御子よ、隠れなき光よ、まことの光よ」と歌いつつ。あなたのクリスマスが、隠れなき光に照らされたまことのクリスマスとなりまふように。

「悪い木になつた人間は」とあるので「悪い木になつていない人間もいるかのよう」に思われるが、実はそうではない。「人間は(誰しも)悪い木になつたのだ」という意味である。しかし、わたしたちは良いことも考え、良いこともやつている。だから、これは言い過ぎだ、誇張だと考え

てしまふ。

第五提題は、「善悪の選択に際して、人間は善を選択することもできるし、悪を選択することもできる」というのは嘘で、人間の意志は奴隸的拘束状態にあるとなつている。これは、一五二五年に発表されることになる「奴隸意志論」の内容である。ルターは、その主張をこの『九七箇条』で先取りしていることになり、この過激な主張はいつた

いどういふことなのであるうか。



き、我々は弱きも、恥と思えることも、すべてをさらしてもなお、神の前に生きる者とされる。キリストの光に照らされることを受け入れる存在だけがそのように生きるのだ。受け入れない者は、闇に逃げてしまふ。そして、自らを神の世界の外に追い出してしまふのである。そこに選びがある。照らされたくないと、隠れることを選ぶ者が自らの選びによつて、自らを選ばれざる者としてしまふ。隠れることを選ばず、神が照らすままに隠れなくあることを受け入れる者は、選ばずに選ばれている。光を反映する存在となり、光と一体となつているのである。

宗教改革500年に向けて
ルターの意義を
改めて考える(32)
ルター研究所所長 鈴木 浩

ここであまり知られていない『九七箇条の提題』を見てみよう。この文書は、先月号で指摘したように、「異端者に反対してアウグスティヌスが語る言葉には誇張がある」と言うことは、アウグスティヌスがほとんどどこでも嘘をついていた、と語ることに等しい」という言葉で始まつていた。

第四提題はこうなつてい

る。「悪い木になつた人間は、悪いことしか考へないし、悪いことしか行わない。ここ

では悪い木になつた人間は」とあるので「悪い木になつて

いない人間もいるかのよう」に思われるが、実はそうではない。「人間は(誰しも)悪い木になつたのだ」という意味である。しかし、わたしたちは良いことも考え、良いこともやつている。だから、これは言い過ぎだ、誇張だと考え

てしまふ。

第五提題は、「善悪の選択に際して、人間は善を選択することもできるし、悪を選択することもできる」というのは嘘で、人間の意志は奴隸的拘束状態にあるとなつている。これは、一五二五年に発表されることになる「奴隸意志論」の内容である。ルターは、その主張をこの『九七箇条』で先取りしていることになり、この過激な主張はいつた

いどういふことなのであるうか。

BoxiROCKS
牧師 ROCKS CD 発表!
入手希望は名前、住所、電話番号を明記し、Eメールにて、christian12wear@yahoo.co.jpへ

牧師 ROCKS→
2牧師 (関野師・市原悠師) +
2神学生による音楽宣教

日本福音ルーテル社団 (JELA)
職員募集

募集職種：一般事務/募集人数：1名
雇用形態：正職員(入社後3か月間は試用期間)/勤務地：ジェラ・ミッションセンター (東京都渋谷区恵比寿12026)
待遇：給与・賞与・手当=当社規定による/勤務時間=9:00~17:00/完全週休二日制/各種社会保険あり/応募条件=高校卒業以上・英語力がある方(業務により海外出張あり)/パソコン基本ソフトが使いこなせること/応募書類提出期限：2015年2月15日(当日必着)

その他詳しくはJELAホームページで<http://www.jela.or.jp>

JELA
Japan Evangelical Lutheran Association
一般社団法人日本福音ルーテル社団
Tel.03-3447-1521 morikawa@jela.or.jp



議長室から

『エンキリデオ小教理問答』(リトン)が宗教改革記念日に刊行されました。マルティン・ルター...

見える形で皆さまのお手元にお届けする最初の書となります。

年の刊行を予定していましたが、本棚に飾ることで終わるなどいうことが私にもありますが、そうではなく手にとって読んで欲しいのです。

3つ目を用いていたかどうかです。『小教理問答』という、洗礼や堅信

合に、それぞれの書を1年の間に各教会で学んでいただくことを期待しているからです。

買って、読んで、そして用いてください

総会議長 立山忠浩

つはずで出版され、重版を重ねている『マルティン・ルター』(徳善義和著、岩波新書)です。

そこで皆さまには3つ

準備会で用いられるという印象がありますが、信仰生活の長い方々にも用いていただきたいのです。

さらに言えば、今日の教会とキリスト者の宣教の使命を見つつけ出していただきたい。推奨4冊はそのための力強い助けになるに違いない。

泊まりdeエキューズに参加して

石川可南子(三鷹教区)

10月3日から1泊2日の日程で、在日大韓基督教会川崎教会で行われたエキューズニカルユースの集いに参加しました。

教会の他、日本聖公会、日本基督教団、在日大韓基督教会等、9つの教派や団体の青年、約50人が参加しました。

初日は、夜8時に集合して開会礼拝を行った後、各教派が自己紹介し、交流会へ。翌朝はそれぞれに持たれた夏のプログラムを報告を行った後、屋上でバーベキュー、最後にメインである「在日と多文化共生」をテーマとしたフィードバックを行いました。

韓基督教会川崎教会の元牧師で故李仁夏牧師が創立した、社会福祉法人青丘社の運営する各施設も見学し、在日コリアンが多く暮らす川崎の街で、多文化共生の理念の元に力強く運営されていることを知りました。

私は今回、初めてこのような他教派の集まりに参加しましたが、各教派の自己紹介や夏のプログラム報告を聞いて、同じキリストに連なる青年であっても、教派や民族的背景が異なることでそれぞれ個性があり、

夏のプロگرام報告会では、私たちは、9月に日本福音ルーテル新霊山



私は今回、初めてこのような他教派の集まりに参加しましたが、各教派の自己紹介や夏のプログラム報告を聞いて、同じキリストに連なる青年であっても、教派や民族的背景が異なることでそれぞれ個性があり、

私は今回、初めてこのような他教派の集まりに参加しましたが、各教派の自己紹介や夏のプログラム報告を聞いて、同じキリストに連なる青年であっても、教派や民族的背景が異なることでそれぞれ個性があり、

ルターナイトVol.0

谷口和恵(松本教会)

宗教改革500年の記念すべき年まで3年となりました。その時に向けて全体教会で、教区で、各教会で様々な伝道プログラムがこれから練られることでしょう。

「祈りをもつてする音楽においては常に神がられる、恵みの臨在をもつて」とは、ルーテル教会の音楽家であるパツハの言葉です。今回のこの小さな音楽の夜にも、確かに神様がいらしてくださいました。音楽をする人も聴く人も、共に神様の祝福のうちにあることが実感できました。

「教会が外に出て行き、皆が集う場を提供する」という今回の試みは、新しい形の伝道の小さな一歩かもしれない。しかし「集会から礼拝へ」をテーマに持ちながら、神様の福音に触れてもらえる場としての「ルターナイト」のこれからが楽しみです。

今年の全国総会のプログラム終了後に、一人の信徒の呼びかけに応じ、30代から50代の数名の有志が集まり、「伝道を考える会」が発足しました。数回のミーティングを重ねる中で、周りの人を

「祈りをもつてする音楽においては常に神がられる、恵みの臨在をもつて」とは、ルーテル教会の音楽家であるパツハの言葉です。今回のこの小さな音楽の夜にも、確かに神様がいらしてくださいました。音楽をする人も聴く人も、共に神様の祝福のうちにあることが実感できました。

「祈りをもつてする音楽においては常に神がられる、恵みの臨在をもつて」とは、ルーテル教会の音楽家であるパツハの言葉です。今回のこの小さな音楽の夜にも、確かに神様がいらしてくださいました。音楽をする人も聴く人も、共に神様の祝福のうちにあることが実感できました。



次回(2015年3月13日19時より、同じく「山羊に、聞く?」で行う予定です。お友達を誘って是非お越しください。

礼拝式文の改訂



（聖餐）

式文委員 石居基夫

前回「みことば」の部に
ついでに説明にもありまし
たように、教会では最も古
い時代から、主日の礼拝に
おいて「みことば」と「聖餐」
の2つを神の恵みに与るた
めの大切な要素としてきま
めた。

現行式文でも、この考え
に基づいて、説教ばかりで
はなく聖餐の恵みにも与る
ことを通常の主日礼拝の姿
としていきます。

実際には、月1回の聖餐
を守っている教会が多いこ
とでしょう。以前は年に数
回のみという時代もありま
したから、それに比べて、聖
餐の喜びが日常的に受け止
められてきているわけでは
ありません。実践的な課題があるこ
とも考慮されなければなら
ませんが、しかし、礼拝にお
ける神様の働きとして、本
来をなされた「みことば」
と「聖餐」によって、ゆるし
と永遠の命に与る恵みの豊
かさを確認していただけれ
ばと思います。

この「みことば」と「聖餐」
は、神様からの恵みの働き
として一貫し、連続したも
のと理解されます。そのこ
とを確認する意味で、今回
の改訂案では「奉獻をこの
間におくことを避けまし
た。奉獻という、私たち人
間が神様に捧げものをす
る、人間の神様に対する業
という方向性を強く示すよ
うになるからです。

実際、ルターが礼拝順序
を書いた『ラテン・ミサ』
『ドイツ・ミサ』いずれにも
「奉獻あるいは、献金は礼
拝順序には置かれていませ
ん。

そもそも礼拝の歴史の中
で「奉獻」は独立した一構成
要素とは考えられてはいま
せん。むしろ、聖餐の部のな
かに組み入れられていて、
聖餐そのものが神に繰り返
し捧げられる犠牲・奉獻と
考えられてきたのです。

ルターはその聖餐の理解
を180度ひっくり返し、
神の恵みの業として理解し
たのです。ですから、この聖
餐の中に奉獻を残さなかつ
たのです。

つまり、礼拝を神様の人
間に対する奉仕の業と理解
するルター派の信仰に基づ
いて、この説教と聖餐の一
貫性をまず大切にしたいの
です。

奉獻についてはそれが教
会の宣教の働き、奉仕の働
きに用いられるものだけ
ら、派遣の部におくことを

提案しています。

聖餐に祈られる「主の祈
り」については、現在のNC
C訳、そして以前の文語訳
いずれも用いられてよい祈
りです。今回新たに、カト
リック教会と日本聖公会と
の共同訳の祈りを加えよう
としています。エキユメニ
カルな交わりにおいて、「主
の祈り」を共に祈ることが
できるように、この翻訳を
採用したいと提案していま
す。

「メンク・デイミニス」
は、老シメオンが幼子キリ
ストにみえたときの賛歌
で、救いを見た喜びに、安ら
かに去ることが出来ること感
謝を歌います。古くは、晩禱
で歌われていました。それ
をルーテル教会では聖餐の
応答歌としたのです。聖餐
が真のキリストの体と血で
あるとの信仰から、主にま
みえた感謝として歌うこと
が最もふさわしいとされた
のです。

聖餐は、神の恵みに生か
される主の食卓です。終末
の救いを取りし、召され
た者も地上にある者もすべ
て、共にこの恵みを喜びい
ただし、キリストの体に与
りましょう。

礼拝全体を検討し見直
すために設置された式文
委員会の働き、「式文改訂」
について、日本ルーテル教
団と共に、その解説をお届
けします。



神戸東教会では、今年の
7月から毎週土曜日に、
「中学生（なんでんで）理
数教室を開いています。

中学校からの帰り道に
教会の前で、お友だちとわ
かれがたく、明るくおしゃ
べりをしていく子どもた
ちの声ときき取り聞こえ
てきます。多くの子どもた
ちが、部活動をはじめ、楽
しい学校生活を過ごし、学
習塾にも通って、かなり忙
しい日々を送っています。

しかしながらその一方
で、中には塾にも行けず、
また学校にも通うことが
できない子どもたちもい
るのです。「ケータイ」や
「スマホも、いじめの道具
になる場合もあります。そ
のような苦しく辛い思い
をしている子どもたちの、
癒しの時、慰めと励まし
の場になればと思います。」「中
生（なんでんで）教室を
聞きました。

わたし自身は小学校2
年生の時、腎臓病のために
ほとんど1年間学校を休
みました。3年生で学校に
復帰したとき、勉強もまっ
たくできず、体力的にも
ひよろひよろとしたわた
しは、かっこうのいじめの
的になっていました。その
時の担任の先生が、放課後
にわたしを1人残してあ

また学校にも通うことが
できない子どもたちもい
るのです。「ケータイ」や
「スマホも、いじめの道具
になる場合もあります。そ
のような苦しく辛い思い
をしている子どもたちの、
癒しの時、慰めと励まし
の場になればと思います。」「中
生（なんでんで）教室を
聞きました。

子どもたちは、エネル
ギーが足りないことが多
いのです。来週、また来ま
すねといつて帰って行っ
ても、次の週に来てくれる
かどうかはわかりません。
ひたすら神さまに祈りな
がら待っています。ですが
「開店休業」のときが多い
のも事実です。

しかしながら、そのよう
な時、きつと神さまが生
きて働いていてくださる
と信じながら、じっと待た
せていただいています。

たたく関わってください
ました。掛算の「九九」
からはじめて、まず学習面
から自信をつけるように
と導いてくださったので
す。今でも、ほんとうに感
謝しています。

宗教改革 記念行事報告

九州教区熊本地区宣教会議長
西川晶子(空園教会)

熊本地区では例年、宗教
改革記念主日に「合同礼
拝」「講演」「コンサート」
を、3年間で一巡する構成
で記念行事を行っています。

今年にはコンサートの年
に当たっていたのですが、
企画段階で「ただコンサー
トを行うより、3年後に
迫った宗教改革500年に

向けて弾みがつくような
ものにした」「できれば
地区の教会が一つになれ
るようなものを」という意
見がありました。その中で
提案されたアイデアが、日
本では上映されないまま
だった2003年の映画
「ルター」の翻訳でした。

人物についての知識が必
要な作業でもあったので
すが、それぞれにかなりの
ご苦労と工夫を重ね、担当
部分の翻訳を仕上げてく
ださいました。

各教会からの翻訳が出
そろったところで、全体の
編集に入りました。用語や
登場人物の敬称などの統
一、またルターがウォルム
ス国会で語った言葉など、
史実とすり合わせながら
調整をして行くところに
実行委員の苦労がありま
した。

九州学院で行われた上
映会当日には、熊本地区の
教会・学校・施設から、
165名が集まり、翻訳
の成果を楽しみました。
上映の前に九州学院の
チャプレン小副川幸孝牧
師から、ルターについて
のお話をいただき、その
余韻のまま、上映開始も
ちろんプロの作業ではあ
りませんが、十分では
ないところもありつつ、
しかしルターのことをよ
く存知でなかった方か
ら「面白かった」という
声をいただいたりもし
てホッとしました。

九州学院で行われた上
映会当日には、熊本地区の
教会・学校・施設から、
165名が集まり、翻訳
の成果を楽しみました。
上映の前に九州学院の
チャプレン小副川幸孝牧
師から、ルターについて
のお話をいただき、その
余韻のまま、上映開始も
ちろんプロの作業ではあ
りませんが、十分では
ないところもありつつ、
しかしルターのことをよ
く存知でなかった方か
ら「面白かった」という
声をいただいたりもし
てホッとしました。

ようこそ！共に主のために

アメリカ福音ルーテル教会からの
短期信徒宣教師(J3)の皆さんが
来日されました。
任期は2015年4月からとなり、
現在は日本語研修を受けています。
写真左から、



Hanna Jensen-Reinke(ハンナ ジェンセン-ラインキ)さん、
Dean Hoelz(ディーン ホルツ)さん、
Zachary Corbin(ザック コービン)さん、

ジェンセン-ラインキ師とコービン師はルーテル学院中学・高等学校に、ホ
ルツ師は九州学院に、それぞれ派遣されることが第26総会期第2回常議員会
にて決定しました。そのお働きに主のお支えをお祈りいたします。



当日のプログラム

2014年 宣教会議

事務局長 白川道生

「これからの教会の姿、これをどう描き、どうやってそれを実現してゆくのか?」

言うまでもなく極めて重要な事柄で、十分な議論を必要とする。

本年も、宣教の進展に絞って討議を行う「宣教会議」が東京市ヶ谷で開催された(9月30日~10月1日)。各教区より常

議員3名、議長以下4役員、信徒選出常議員と各室長、合計21名が出席した。

まず、立山中岩総会議長は、主要課題への取り組みを説明した。中でも優先してきた3つの事柄、宗教改革500年に

向けての宣教強化、全体教会及び各個教会の財政課題と解決策、社会に仕える教会のあり方に言及

され、継続して注力すると意向を述べた。

次に、白川事務局長は、JELC宣教方策の変遷を振り返りながら、近年の推移を報告した。1893年の宣教開始から全

た教会と会員数だが、近年はマイナスに転じ、この教会活動全般にわたる規模減少はこれより後も

続き、中でも教職数と各個教会の財政規模の減少は確実との予測を推移表

にして提示した。その上で、JELCが向かおうとする

この方向性を鮮明にする討議となるよう本会議への期待を述べた。

教会事務局を構成する4室も職域からの発題を

行った。広報室安井室長は、インターネット環境と伝道に関する提言と考察を述べた。

新築実績を土地建物回転資金の経緯をそれぞれ

一覧表にして配布した。また、過去2度あった給

与改定検討委員会の主たる論点を発表した。

宣教室からは、現行方策の「課題」「基本目標

の再定義と、実践する教職の働きのあり方に関する

議論を要請した。加えて、会議に先立って依頼されていた、

個教会における建築決断の主体性と教職配置の

関係、牧会委嘱に対する体験的な評価、具体的

事案から見える土地建物関係の働きの多様化傾向、

収益事業の見直しと収益使途等々、課題の山積も

実感されたが、宣教の進展を目指す熱気漂う時間

でもあったのは本報告に記したい。本宣教会議は当然、

「ブラジル伝道」1965年から日本福音

ルーテル教会の海外伝道として誕生した、サン

パウロにある日系人教会の宣教支援と2009年

4月より宣教師として派遣されている徳弘浩隆牧

師夫妻の人情費を補うために、毎年200万円の

募金目標を掲げている。ブラジル人牧師との協働、

「世界宣教のために」緊急の支援を必要としている

人々の救援活動及び宣教・奉仕活動に対応

するために「無指定献金」を設けています。無指定

献金の配分・送金先はJELC常議員会に委ねられて

います。

「上記献金の送金先」日本福音ルーテル教会

「メコン流域支援」日本福音ルーテル教会

は「メコンミッション活動」として、メコン川流域

の人々のための宣教・教育・奉仕事業を香根、シン

ガポールのルーテル教会と共同で展開しています。

郵便振替 00190771734

名義 (公)日本福音ルーテル教会

「メコン流域支援」日本福音ルーテル教会

は「メコンミッション活動」として、メコン川流域

の人々のための宣教・教育・奉仕事業を香根、シン

ガポールのルーテル教会と共同で展開しています。

郵便振替 00190771734

名義 (公)日本福音ルーテル教会



徳善義和牧師
キリスト教功労者として
顕彰される

徳善義和牧師(日本福音ルーテル教会定年教師)が、キリスト教功労者として顕彰されました。

今回、45回目となる顕彰者として徳善義和牧師と松居直さん(児童文学者、編集者)が選ばれました。これまでに日本福音

ルーテル教会の牧師として顕彰されたのは、岸千

年師(第10回1979年)、山内六郎師(第16回

1985年)、青山四郎師

キリスト教文化協会(代表理事 近藤勝彦さん)により、キリスト教関係

の宣教・教育・社会・福祉・出版など文化の発展やキ

リスト教思想の普及に貢献のあったキリスト教信

仰者の方々に顕彰するものです。

(第21回1990年)で

了。顕彰式典は、2014年10月20日、東京銀座の

教文館ウエナライトホールにて行われ、大勢の関係

者が集いました。徳善義和牧師の長年にわたるル

ター研究、神学教育、牧師養成、エキユメニカル運

動のリーダーシップ、そして牧師、説教者としての

歩みに共に感謝する心と時となりました。

多岐にわたるご活躍の中でも、ご自身、牧師として

その歩みをなしてきたことへの言及がもつとも

栄誉なことであると語さ

れました。かつて、ルー

テル学院大学・神学校の

チャプレンを兼任された

際、祈るといふ役割を担

えることを喜んでいると

学生たちに挨拶されたこ

とを思い出します。そ

して、学院における教会

の役割を担われました。

学生たちは教授が牧師と

して活躍するのを目の当

たりにしたのです。牧師

と教会を養い育てる牧

師。今回の顕彰はそのこ

との確認でもありまし

た。心からお慶び申し上げ、

これからの歩みに主

の豊かな祝福をお祈り

いたします。(広報室)

「連帯献金のお願い」

2014年度ルーテル

日本福音ルーテル教会

は、今日の社会・世界に

おける福音の宣教、奉仕、

災害・飢饉に苦しむ方々

に連帯したいと願ひ祈り

ます。そのために「連帯献

金」の呼びかけを致します。



「喜望の家」

1976年に開設された

大阪の「釜ヶ崎ディア

コニアセンター喜望の

家」は日本福音ルー

テル教会のセンターです。

アルコール依存を抱えた

方々の支援・相談、アル

コールを飲まない生活を

支えるための「自立生活

支援プログラム」の提供、



ある日の喜望の家/結び会

「メコン流域支援」

日本福音ルーテル教会は「メコンミッション活動」として、メコン川流域の人々のための宣教・教育・奉仕事業を香根、シンガポールのルーテル教会と共同で展開しています。



郵便振替 00190771734

名義 (公)日本福音ルーテル教会

2015年度版教会手帳住所録 正誤・変更表

2015年版教会手帳住所録につきまして、下記の通り表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。また、住所録校正後に変更のご連絡をいただきました件につきましても併せてお知らせいたします。事務局

ページ	誤・変更前	→	正・変更後
P4	教会	聖パウロ教会FAX	→電話・FAX 共用：03-3634-7867
P6	教会	長野教会共用	→FAX 新設：026-217-8520
P8	教会	掛川・菊川教会 齋藤幸二(兼)	→後藤由起(兼)
P11	教会	岡山教会 okayama@jlc.or.jp	→ okayama.lutheran@gmail.com
P15	教会	宇土教会 立野泰博	住所：大江 4-21-17 → 大江 4-20-23
P18	引退	田中良浩	電話→ 電話番号変更：03-6318-7278
P60	社会事業	社会福祉法人	レインボーハウス福祉会(理事長)→ (施設長)